

令和6年度 浜松市「青少年の表彰」実施要項

1 趣 旨

さまざまな困難を克服し、自己中心に陥ることなく他者や社会のために地道に努力している青少年、青少年団体（グループ）の諸活動を賞賛し、奨励することで、青少年の健やかな成長に資するため、「青少年の表彰」を実施します。

2 表彰の対象

(1) 対象者

市内に居住する25歳未満の青少年

市内で活動する主に25歳未満の青少年で構成される青少年団体

(2) 対象となる活動

推薦書提出までの間に常時又は定期的に継続して行われた活動、あるいは人命救助等、機に依じてとった行為で、次の区分に該当するもの

ア 奉仕活動

地域・施設・学校・職場などの公共のために、経済的な見返りを求めることなく自発的に行った環境美化、社会福祉、事故防止などの活動

イ 環境改善活動

公衆道徳の普及、公共物や自然・文化財の愛護、生活改善などで実績を挙げた活動

ウ 文化・体育活動

明るいまちづくりや、学校・職場づくりなどに大きく貢献した文化・体育活動、郷土芸能の伝承活動、発表等を通じ地域を活性化する活動

エ 育成指導活動

青少年の育成指導、青少年団体の組織等に特に尽くした活動

オ その他の活動

ア～エにあてはまらないが、この事業の趣旨から見て表彰することが適当な活動

3 表彰の種類

(1) 善行賞

特に顕著な善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

(2) 善行奨励賞

善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

4 推薦手続き

推薦者は、「青少年の表彰」推薦書に必要な事項を正確かつ具体的に御記入していただき、直接又は郵送にて浜松市こども家庭部こども若者政策課青少年育成センターへ御提出ください。

※推薦書の様式は、浜松市のホームページからもダウンロードできます。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

子育て・教育 → 子育て・青少年・若者 → 浜松市青少年育成センター →
 青少年健全育成事業 → 浜松市「青少年の表彰」

5 提出先 浜松市こども家庭部 こども若者政策課 青少年育成センター

〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目2番1号

イーステージ浜松オフィス棟7階

TEL : 053-457-2418

E-mail : ikusei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

6 推薦締切

令和6年9月11日(水) 必着

7 審査並びに表彰

(1) 審査

善行賞及び善行奨励賞を決定します。

(2) 表彰

善行賞受賞者(団体)には表彰式にて市長が表彰状と楯を贈ります。(表彰式は12月頃を予定)

善行奨励賞受賞者(団体)には表彰状を贈ります。

(3) 発表

審査の結果は公表するほか、推薦者・受賞者(団体)の双方に通知します。受賞者が児童・生徒の場合は、所属学校を通して通知します。

8 令和5年度までの推薦・表彰件数(参考)

年度	善行賞 表彰件数				善行奨励賞 表彰件数				推薦件数		
	回	個人	団体	合計	回	個人	団体	合計	個人	団体	合計
S45	1回	5	7	12					5	7	12
S46	2回	3	6	9					3	6	9
H28	47回	7	12	19	16回	12	5	17	19	17	36
H29	48回	6	6	12	17回	17	4	21	23	10	33
H30	49回	9	6	15	18回	6	5	11	15	11	26
R1	50回	10	8	18	19回	10	3	13	20	11	31
R2	51回	6	10	16	20回	9	1	10	15	11	26
R3	52回	10	5	15	21回	6	3	9	16	8	24
R4	53回	18	5	23	22回	33	3	36	51	8	59
R5	54回	21	6	27	23回	2	2	4	23	8	31
合計		343	367	710		216	171	387	629	656	1,285

過去の受賞例

◎奉仕活動

地域・施設・学校・職場など公共のために行った環境美化、社会福祉、事故防止などの活動

- ・図書館ボランティアとして、返却された本の整理などを3年間継続して行っている。(個人)
- ・地域イベントでのボランティア活動を、長年にわたり行っている。(団体)
- ・学校昇降口の清掃を、昼休みや休み時間に毎日自主的に行っている。(個人)
- ・朝のあいさつ運動を毎日欠かさず行っている。(個人)
- ・障がいを持つ方の介助や交流の援助に取り組んでいる。(団体)

◎環境改善活動

公衆道徳の普及、公共物や自然・文化財の愛護、生活改善などで実績をあげた活動

- ・生徒会の常時活動としてアルミ缶の回収・リサイクルを継続して行い、利益のすべてを地域の社会福祉協議会へ寄付している。(団体)
- ・地域住民と協力し、川の清掃や土手の草刈などの環境保護活動を楽しみながら行い、地域の自然と郷土を愛する心を育てている。(団体)

◎文化・体育活動

明るいまちづくりや学校・職場づくりなどに大きく貢献した文化・体育活動、郷土芸能の伝承活動、発表等を通じ地域を活性化する活動

- ・年間にわたり地区敬老会や福祉施設、町民体育大会などで演奏活動を行っている。音楽をとおして地域の人々と交流している。(団体)
- ・美術部員が自らの特技を生かして、地域の壁画や横断幕の制作に取り組むなど、地域づくりに貢献している。(団体)
- ・市指定文化財の遠州大念仏の保存活動に取り組んでいる。大人の中に混じり小学生1人で練習しており、継承者として期待されている。(個人)

◎育成指導活動

青少年の育成指導、青少年団体の組織等に特に尽くした活動

- ・当該団体の会員がイベントのボランティアスタッフとして参加し、野外活動の豊富な経験をいかして参加者の指導・支援を行った。(団体)
- ・青少年団体に所属し、常に会員の模範となってリーダーシップを発揮している。イベントでは企画から運営まで積極的に関わった。(個人)

◎その他の活動

この事業の趣旨から見て、表彰することが適当と思われる活動

- ・下校途中に道に迷っている小学生を見つけ、遠距離にもかかわらず家まで送り届けた。(個人)
- ・ケガをしているお年寄りを見かけ、近くの人に通報した。お年寄りは無事保護され、手当てを受けることができた。(個人)

令和5年度の善行賞受賞者（敬称略・順不同）

■善行賞〈個人の部〉 21件

※学年は令和5年度当時

菅沼 映月	(静岡県立浜松湖南高等学校・2年)	東部協働センターでのボランティア活動
森川 舜斗	(浜松市立浜名中学校・1年)	浜北ラジオ体操連盟でのボランティア活動
林 遼太	(浜松開誠館高等学校・1年)	浜松科学館でのボランティア活動
竹本 侑加	(浜松開誠館高等学校・1年)	浜松科学館でのボランティア活動
増井 映介	(静岡県立浜松西高等学校・2年)	浜松科学館でのボランティア活動
渡邊健汰朗	(静岡県立浜松南高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
渡邊俊汰朗	(浜松学芸高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
堀田 顕臣	(浜松日体高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
柴久喜晴那	(静岡県立浜松商業高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
白柳 紗苗	(静岡県立浜松湖東高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
芳賀 佳惺	(静岡県立浜松湖東高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
伊藤 健	(浜松市立水窪中学校・3年)	水窪町内施設事業のボランティア活動
楠 遥希	(浜松市立水窪中学校・3年)	水窪町内施設事業のボランティア活動
古橋 花梨	(浜松市立丸塚中学校・3年)	蒲協働センターでのボランティア活動
高木 美来	(浜松市立丸塚中学校・3年)	蒲協働センターでのボランティア活動
加藤 海子	(静岡県立浜松湖東高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
木下 昊飛	(浜松日体高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
豊田 純	(笹田学園デザインテクノロジー専門学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
鳥居 心結	(浜松学院大学短期大学部・2年)	浜松市立青少年の家でのボランティア活動
細川ちゆり	(専門学校中央医療健康大学校・1年)	浜松市立青少年の家でのボランティア活動
田中 稜真	(常葉大学・4年)	陸上競技における各種文化体育活動

■善行賞〈団体の部〉 6団体

浜松市立光が丘中学校 生徒会

10年ほど前から、生徒会主導で集まった生徒たちが小学校で行うあいさつ運動と、生活委員がPTA役員や教員と協力して中学校で行うあいさつ運動を継続している。積極的なあいさつを交わすきっかけとなっていて、「あいさつで明るく、防犯の目が行き届いた」地域の活動となっている。

浜松市立瑞穂小学校

10年ほど前から、ペットボトルキャップを回収してリサイクル資源とすることで、世界の子どもたちのためのワクチン製造に役立っている。児童たちが、SDGsを意識した今後のまちづくりや、地域の方とのつながりを持つことの大切さを実感できる活動にもなっている。

聖隷クリストファー大学 SGE♡PJ

5年前から「AYA世代に向けた婦人科がん検診啓発」を目的に、子宮頸がんの啓発活動を中心にやってきた。令和4年度からは新たに乳がんの啓発活動にも取り組み始め、様々な活動を継続して展開していくことで、検診受診率の向上につながっていくことが期待できる。

庄内学園 高等部

10年ほど前から高等部の生徒たちが地域イベントの運営ボランティアをしている。令和5年度からは、「庄内未来研究所」という単元を新規に設け、地域貢献を教科指導に組み込むなど、生徒が地域の活性化に対してさらに貢献していくことが期待される。

三幸子供太鼓愛好会

毎年、三幸町町民祭で和太鼓を披露している。令和2年からは、三方原中学校の「三翔発表会」でオープニング演奏をしている。今後も様々なイベントに積極的に参加することで、和太鼓を通して地域を盛り上げることに貢献している。

浜松市立佐鳴台中学校

20年以上前から、佐鳴湖周辺の環境整備と生物の保全のため、「佐鳴湖クリーン作戦」のボランティアとして、毎年100名以上の生徒が参加している。生徒たちの地元の自然環境保護への関心を高めるだけでなく、地域の活性化にも貢献した活動となっている。